

総合戦略プロジェクト評価シート（平成28年度実績）

担当部課等名	健康福祉部 福祉保険課
基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	「にのみやLife」の提案と発信
プロジェクト	親・子・孫の同居・近居実現プロジェクト

実施計画事業評価

	実施計画事業名	事務事業評価
01	同居・近居推進事業	B
02		
03		
04		
05		
06		
成果や課題 (箇条書き)	広報・HPにて周知を図った。新築2件、住宅改修1件の実績があった。 定員に達した場合、補正対応をするか再度検討する必要がある。	

【参考】(事務事業評価の評価指標)
 A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持
 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある
 C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)

重要業績評価指標

指標名	基準値	目標値
「にのみやLife」PRホームページの閲覧数	14,451	基準値の2倍 (平成31年度の実績値)
空き家バンクに登録された空き家（空き地を含む）の 利活用件数	-	5件 (平成27年度以降の累積実績値)

該当評価に
レを入れてください

総合評価	<input type="checkbox"/>	I: 基本目標の達成に向け、講ずべき施策を構成するプロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	II: プロジェクトとしては順調に進行しているが、さらなる推進のためには、一部、事業を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	III: プロジェクト全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	IV: プロジェクトを休止・廃止する
	説明	同居・近居制度について、さらなる周知を図り、利用の促進に努める。また、他制度との重複等現状を見直し、利用者にとって、分かりやすく、使いやすい内容に集約するなど改善についても検討する。

今後の方向性	
来年度に向けた課題や意見等	住宅改修等住居に関わる補助事業があるため、統合・住み分けを検討する必要がある。

評価者 [担当主管部長]	
<input type="checkbox"/> ① 継続	<input checked="" type="checkbox"/> ② 一部改善
<input type="checkbox"/> ③ 全面的な見直し	<input type="checkbox"/> ④ 休止・廃止
意見等	他の補助事業と統合・住み分けを検討する。